

優先順位付け等の改革について

平成 1 8 年 7 月 2 6 日

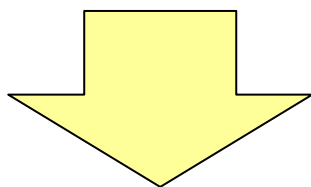
科学技術政策担当大臣

総合科学技術会議有識者議員

0 はじめに

「平成19年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針」で、優先順位付けの改革について決定

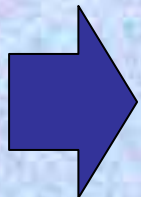
(6月14日総合科学技術会議決定、意見具申)



今回、**優先順位付けの改革**についての検討結果を報告

1 主な改革点

- 全体像をより詳細に把握
- 優先順位付け対象を戦略的に見直し
(分野別推進戦略、イノベーション創出総合戦略等を踏まえ、
資源配分方針に明記した重点課題をより詳細に)
- 透明性の向上等審査体制の改善



昨年度までと比べ、戦略的に重点化し、
より詳細に科学技術関係施策をチェック

2 全体像をより詳細に把握

○ 関係府省の概算要求の基本事項を聴取

- ・・・優先事項、システム・制度改革への取組、戦略重点科学技術への対応、不正防止に関する取組状況等

○ 独法等の運営費交付金業務の全体像把握

- ✓ 科学技術関係の**全ての独法**について、運営費交付金の配分計画を把握(大規模法人はヒアリング)
- ✓ 国立大学法人等についても、重点的な取組を中心にヒアリング

3 優先順位付け対象を戦略的に見直し

○ 昨年までは、一律に対象を決定

- ・・・新規1億円、継続10億円以上の施策が対象
(独法等の運営費交付金による事業は対象外)



○ 本年は、重要な部分に重点化して詳細にチェック

➤ 重点課題(6月の資源配分方針で明示)

(独法等の運営費交付金による事業も対象)

◇ 世界トップレベルの研究拠点構築▶ 新規全て

◇ 重要な基礎研究▶ 新規全て、継続10億円以上

◇ 8分野(戦略重点科学技術)▶ 新規全て、継続5億円以上

◇ 重要なシステム改革▶ 新規全て、継続10億円以上
(イノベーション、人材、地域等)

➤ 上記以外の施策▶ 新規1億円、継続10億円以上(従来どおり)

4 透明性の向上等審査体制の改善

○審査基準の明確化

- ✓ 必要性、計画性、効率性、評価等の反映状況について、審査基準を明確化
- ✓ 競争的資金等の制度施策は、審査項目を別途設定

○審査体制の充実

- ✓ 国民への成果還元の観点からの専門家を拡充
- ✓ 追加的に特定分野の専門家のレビューも活用
- ✓ 十分なヒアリング時間を確保

5 今後のスケジュール

- 8月末 概算要求に併せ、関係府省から資料提出
- 9月 全体ヒアリング、分野別ヒアリング実施
- 10月 本会議に優先順位付け等の結果を報告
- 11月 科学技術関係予算の編成に向けた意見
(本会議決定・意見具申)
- 12月 平成19年度予算案の決定